

平成29年コシヒカリ栽培こよみ

みな穂農業協同組合
黒東地域農業技術者協議会

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		
生育期区分	4/10 浸種	4/23 播種	育苗期	5/15 田植期	活着期	有効分げつ期	無効分げつ期	7/13頃 幼穂形成期	穂ばらみ期	8/5頃 出穂期	登熟期	9/13頃 成熟期		
水管理			やや深水 浅水管理			間断かん水		飽水管理		湛水管理		間断かん水		
	<p>①土壌改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ○珪酸質資材の継続的な施用 ○珪酸ケイフン・堆肥の積極的な施用 <p>○ゆっく〜と耕起（作土深目標20cm確保）</p>		<p>○ていねいな代掻き（田面の均平を図る）</p> <p>②5月15日中心の田植</p> <ul style="list-style-type: none"> ○浅水管理で初期生育確保 ○坪当り70株植え・植付本数3〜4本 		<p>○軽い田干しや水の入れ換え</p> <p>アオモヤ「ワキ」を抑える</p> <p>③溝切り、中干し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田植後1ヶ月後を目安に開始 ○中干し後の間断かん水 		<p>○畦畔・雑草地等の草刈り（一斉草刈り）</p> <p>④幼穂形成期以降の飽水管理</p> <p>⑤穂揃期の葉色を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出穂7日前頃に必要に応じて追加穂肥 		<p>⑥病害虫防除</p> <p>⑦出穂後20日間の湛水管理</p> <p>※かけ流しは絶対にやめましょう</p>		<p>⑧適期刈取</p> <ul style="list-style-type: none"> ○刈取の5〜7日前までかん水 ○フェーン時は速やかに入水 		<p>○適正な乾燥調製</p> <p>○籾黄化率85〜90%で刈取</p> <p>○次年度に向けて秋耕</p>	



土づくり資材施用量

- ①シリカロマン 120kg
- ②こめこめ大地 120kg
- ③珪酸石灰 160kg
- ④アサヒニューテツ 160kg
- ⑤珪酸ケイフン（粒）75kg（春施用）

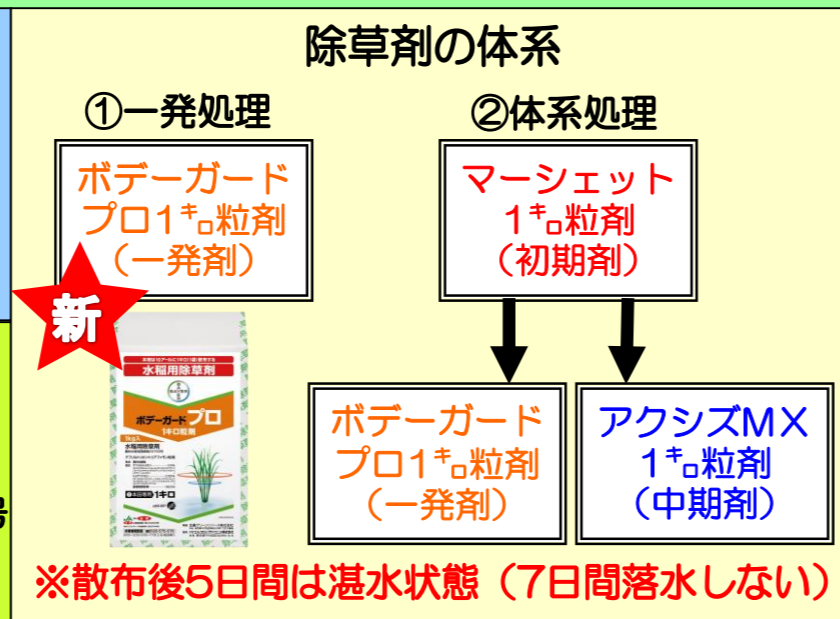
苗箱施薬
播種同時 又は 田植3日前〜当日

ルーチントレス箱粒剤 50g/箱

※除草剤と間違えない

適正な基肥施用量
側条一発肥料の場合

コシヒカリ1号 又は 2号 38kg/10a



病害虫防除

1回目：出穂直前

ミミックジョーカーバリダ粉剤DL 4kg/10a

いもち病・紋枯病・カメムシ・ニカメイチュウ等

2回目：穂揃期

ラブサイドキラップ粉剤 4kg/10a

いもち病・カメムシ等

※畦畔にも薬剤がかかるように散布

深耕

秋耕と春耕の2回掛け

- ①稲ワラの腐熟促進 → 春先の「ワキ」を防止
- ②作土深目標20cm確保 → 根域拡大、整粒歩合向上